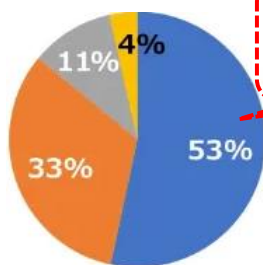


コロナ禍以降、リモートワークの普及や働き方の多様化により、以前のような自然の会話や雑談が減少し、コミュニケーション不全を危惧する企業が増えています。職場でのコミュニケーションは、単に円滑な業務遂行のためだけではなく、働く皆様の心の健康や生産性、エンゲージメントにも直結する重要な要素です。

従業員間のコミュニケーション不足は 業務の障害になると思うか？

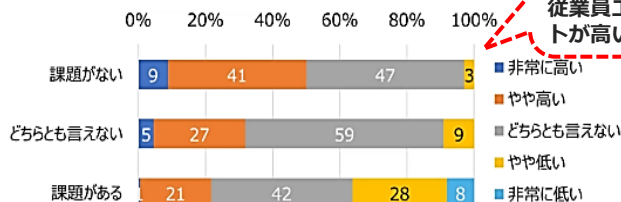


86%の企業が「社員間のコミュニケーション不足は業務の障害になる」と考えている

■ 大いにそう思う
■ ややそう思う
■ どちらとも言えない
■ あまりそう思わない
■ 全くそう思わない

社内コミュニケーション課題の有無別 従業員エンゲージメント※の状態

※：従業員が仕事や組織に対して持つ愛着心や貢献意欲のこと



社内コミュニケーションに課題のない企業ほど、従業員エンゲージメントが高い

出典：HR総研「社内コミュニケーション」に関するアンケート2024の結果

コミュニケーション不足はなぜ起こるのか？

雑談や相談がしにくい職場の雰囲気

効率重視の環境では必要最低限の会話しか交わされなくなりがち！従業員は「相談しても迷惑がられるのでは」と感じ、次第に口を閉ざすようになる

上司や経営陣との接点の少なさ

管理職と一般従業員との間に日常的な接点が少ないと、現場で何が起きているかが見えづらくなりやすい

部署内の連携や交流が十分でない

部署内や部署間の情報共有不足により、業務上の連携ができない

職場の
コミュニケーションが
不足すると・・・

ミスが起こりやすくなる

情報共有不足により、指示内容の解釈の違いや確認不足が発生しやすくなる

コンプライアンス違反のリスクが生じる

報告・連絡・相談がしにくい職場環境では、不正行為やハラスメント行為が見逃されやすい

業務の質が下がる

従業員それぞれが孤立しがちな環境になり、問題を1人で抱え込み、仕事の質が低下する

離職率が高くなる

人間関係が希薄になり、従業員は孤立感や疎外感を抱えやすくなると辞めることを選びやすい

個人でできる 職場の人とのコミュニケーションのポイント

相手の意見や視点を尊重する

より深い会話や共感を生み出すことができるので、良好なコミュニケーションの基礎となります。

自己開示を行う

自分の内面（経験、感情、弱みなど）を他人と共有することで、相互理解が深まるので、信頼を築くための重要なツールとなります。

フィードバックを求める

上司や先輩、同僚から具体的な意見や改善点を求めることで、新たな視点を得られるだけでなく、真摯なやり取りの積み重ねが良好な関係を築くことに役立ちます。

明確に伝える

自分の意見や感情をはっきりと伝えることは、誤解を防ぐために重要ですが、伝え方として、感情的・批判的ではない建設的なフィードバックを心掛けることが大切になります。

感謝の意を表現する

職場で助けられたり協力してもらえたら、その努力を理解し、感謝の意を言葉にして伝える。これは、相手への敬意を示すことであり、ポジティブな関係を強化することに繋がる。

出典： https://www.hrpro.co.jp/research_detail.php <https://mental-link.co.jp/wp/column/insufficient-communication/> shinko-jp.com/column/communication/

健康相談ダイアル

毎週 月曜日 14:00～16:00

086-236-7831 (なやみ いちばん)



ご本人やご家族などのこころとからだに関する相談を
保健師がお受けします。
一人で思い悩む前にお気軽にお電話ください。